

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社
 コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 康憲
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,415	△21.5	1,062	△44.1	1,176	△38.6	1,526	18.8
2020年3月期第2四半期	14,546	△5.8	1,899	6.8	1,918	0.1	1,284	3.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,500百万円(31.3%) 2020年3月期第2四半期 1,143百万円(△27.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	56.95	56.83
2020年3月期第2四半期	47.96	47.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	33,328	26,054	78.0	969.53
2020年3月期	31,627	24,817	78.3	924.03

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 25,981百万円 2020年3月期 24,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	7.00	22.00
2021年3月期	—	7.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※詳細は、本日公表の「2021年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,090	△17.9	1,060	△63.3	1,120	△61.8	1,400	△29.0	52.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※詳細は、本日公表の「2021年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	28,392,000株	2020年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,593,462株	2020年3月期	1,593,318株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	26,798,569株	2020年3月期2Q	26,786,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた緊急事態宣言発令により社会経済活動は自粛を余儀なくされ、企業景況感の悪化や個人消費の落ち込みが期を通して継続しました。宣言解除後は一部に持ち直しの動きが見られましたが、感染再拡大の懸念が払拭されず将来を見通せない不透明な状況が続いております。

海外経済におきましては、各国が大規模な景気浮揚策を打ち出していますが、中国など経済活動が本格的に再開した地域を除き、依然として長期停滞から脱せない状況にあります。欧米では感染再拡大により外出や飲食店舗営業制限が継続しており、個人消費の低迷が続いています。アジアでは、輸出入取引の拡大や出入国規制の緩和により経済活動が再開しており、新型コロナウイルスの影響からの回復の兆候が見え始めました。

当社グループが主要市場とする食品業界は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、百貨店、コンビニエンスストア、飲食店などの売上が落ち込み、レジャー、観光関連の個人支出が減少し、スーパーマーケット等の一部小売業態を除いて先行きの見通せない状況が続きました。

当社グループは、レオロジー（流動学）を基礎とする独自の開発技術をベースに、当社機械を利用されているお客様が新型コロナウイルス感染症の影響を克服していくために、巣ごもり消費で変化した消費者の食に対するニーズに沿った商品製造法の提供等により、お客様の業績向上に資する提案を原点に立ち返り強化してまいりました。渡航制限等の制約は続いておりますが、取引先や従業員の安全面を最優先に確保したうえで営業活動を再開しました。また、展示会が開催されない中、当社の強みである「見せる営業」が展開できない状況をカバーするため、非対面でもサービス提供が可能となるウェブコンテンツの開発や遠隔サポートツールの導入を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,415百万円（前年同四半期比21.5%減）、営業利益は1,062百万円（前年同四半期比44.1%減）、経常利益は1,176百万円（前年同四半期比38.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,526百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

食品加工機械製造販売事業(日本)

日本国内では、製パンライン等は増加しましたが、食品成形機、修理その他、仕入商品の売上は減少しました。

主な要因は、大型の製パンライン等の販売はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売機会が減少したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は4,842百万円(前年同四半期比18.3%減)となりました。

セグメント利益(営業利益)は1,132百万円(前年同四半期比25.2%減)となりました。

食品加工機械製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比30.6%減少となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大型ラインの売上がなかったことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが108円63銭から106円92銭の円高となったため、外部顧客に対する売上高は774百万円(前年同四半期比31.7%減)となりました。

アメリカ政府の補助金収入等により、セグメント利益(営業利益)は24百万円(前年同四半期比28.9%増)となりました。

食品加工機械製造販売事業(ヨーロッパ)

ヨーロッパ地域では、食品成形機、修理その他は減少しましたが、製パンライン等の売上が増加したため、現地通貨ベースでの売上高が前年同四半期比0.9%増加となりました。

主な要因は、大型製パンラインの販売があったことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが121円42銭から121円29銭の円高となったため、外部顧客に対する売上高は1,696百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は173百万円(前年同四半期比2.1%減)となりました。

食品加工機械製造販売事業(アジア)

アジア地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他、仕入商品の売上が減少しました。

大型のペストリーラインの販売はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売機会が減少したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,260百万円(前年同四半期比46.6%減)となりました。

セグメント利益(営業利益)は469百万円(前年同四半期比45.8%減)となりました。

食品製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、オレンジベーカーリーの売上高が現地通貨ベースで、前年同四半期比17.4%減少となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、レストランや大手食品卸業社向けの売上が大幅に減少したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが108円63銭から106円92銭の円高となったため、外部顧客に対する売上高は2,609百万円(前年同四半期比18.7%減)となりました。

セグメント損失(営業損失)は、10百万円(前年同四半期はセグメント利益222百万円)となりました。

食品製造販売事業(日本)

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高が232百万円(前年同四半期比2.0%増)となりました。

主な要因は、輸出向けのパン種を取り扱う問屋において、中国へのパン種の販売が増加したことがあげられます。

セグメント利益(営業利益)は、展示会費用などの販売費が減少したことにより、38百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,888百万円増加し、16,052百万円となりました。当社の長期借入などにより現金及び預金が1,161百万円増加、受取手形及び売掛金が743百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて187百万円減少し、17,276百万円となりました。当社の土地の売却などにより有形固定資産が401百万円減少、当社の基幹システム入れ替えに伴うソフトウェア仮勘定の増加などにより無形固定資産が263百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,701百万円増加し、33,328百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて520百万円減少し、4,823百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が181百万円減少、短期借入金が202百万円増加、前受金が427百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて985百万円増加し、2,451百万円となりました。これは、長期借入金834百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて464百万円増加し、7,274百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,236百万円増加し、26,054百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が44百万円増加、土地再評価差額金の取崩が3,938百万円、利益剰余金が2,693百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の経済動向を勘案し、2020年8月6日に公表しました2021年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年11月10日)公表いたしました「2021年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,820,663	5,981,867
受取手形及び売掛金	3,020,838	3,764,280
商品及び製品	3,826,296	4,130,754
仕掛品	1,068,137	613,603
原材料及び貯蔵品	770,541	823,278
その他	673,305	754,461
貸倒引当金	△15,891	△15,858
流動資産合計	14,163,890	16,052,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,717,776	12,893,627
減価償却累計額	△8,496,348	△8,015,161
建物及び構築物(純額)	5,221,428	4,878,466
機械装置及び運搬具	7,834,528	7,674,645
減価償却累計額	△6,005,935	△6,046,218
機械装置及び運搬具(純額)	1,828,592	1,628,427
工具、器具及び備品	2,022,041	2,023,441
減価償却累計額	△1,811,016	△1,834,367
工具、器具及び備品(純額)	211,024	189,074
土地	4,716,144	4,292,513
リース資産	45,286	45,286
減価償却累計額	△35,620	△39,071
リース資産(純額)	9,665	6,215
建設仮勘定	1,803,489	2,393,946
有形固定資産合計	13,790,345	13,388,643
無形固定資産	1,502,575	1,766,322
投資その他の資産		
投資有価証券	742,444	810,038
退職給付に係る資産	1,126,476	1,124,406
その他	312,665	194,462
貸倒引当金	△10,880	△7,677
投資その他の資産合計	2,170,707	2,121,229
固定資産合計	17,463,627	17,276,195
資産合計	31,627,518	33,328,583

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	839,030	657,190
短期借入金	738,975	941,956
リース債務	6,690	4,650
未払費用	426,324	529,158
未払法人税等	267,682	143,529
前受金	1,323,486	895,713
賞与引当金	630,837	490,224
役員賞与引当金	21,700	15,000
未払金	1,014,769	1,002,847
その他	74,609	142,950
流動負債合計	5,344,106	4,823,221
固定負債		
長期借入金	639,344	1,473,491
リース債務	3,770	2,067
繰延税金負債	282,806	445,431
再評価に係る繰延税金負債	398,310	398,310
訴訟損失引当金	19,010	11,364
資産除去債務	71,399	71,412
その他	50,771	49,016
固定負債合計	1,465,413	2,451,096
負債合計	6,809,519	7,274,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,069,407	7,069,407
利益剰余金	17,272,996	14,579,743
自己株式	△773,557	△773,731
株主資本合計	30,920,595	28,227,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,757	213,031
土地再評価差額金	△5,531,033	△1,592,819
為替換算調整勘定	△748,105	△817,971
退職給付に係る調整累計額	△47,553	△47,412
その他の包括利益累計額合計	△6,157,934	△2,245,172
新株予約権	55,337	72,268
純資産合計	24,817,998	26,054,265
負債純資産合計	31,627,518	33,328,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	14,546,566	11,415,762
売上原価	7,774,994	6,310,686
売上総利益	6,771,572	5,105,076
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	188,503	21,535
荷造運搬費	466,683	356,909
貸倒引当金繰入額	5,425	5,744
販売手数料	321,054	232,946
給料及び手当	1,395,928	1,381,679
賞与引当金繰入額	399,309	277,339
役員賞与引当金繰入額	15,350	15,000
退職給付費用	87,061	90,693
旅費及び交通費	256,846	112,168
減価償却費	187,993	172,076
研究開発費	400,190	295,631
その他	1,147,336	1,081,317
販売費及び一般管理費合計	4,871,685	4,043,040
営業利益	1,899,887	1,062,035
営業外収益		
受取利息	2,205	1,930
受取配当金	12,059	12,253
物品売却益	5,612	4,358
為替差益	—	7,428
補助金収入	—	51,542
保険解約返戻金	2,479	—
電力販売収益	14,729	14,724
その他	25,760	38,025
営業外収益合計	62,848	130,263
営業外費用		
支払利息	8,829	8,119
為替差損	27,264	—
電力販売費用	6,225	5,577
その他	2,223	1,630
営業外費用合計	44,543	15,327
経常利益	1,918,192	1,176,971
特別利益		
訴訟損失引当金戻入額	—	7,646
固定資産売却益	—	682,713
特別利益合計	—	690,360
税金等調整前四半期純利益	1,918,192	1,867,331
法人税、住民税及び事業税	581,125	22,112
法人税等調整額	52,452	319,155
法人税等合計	633,577	341,268
四半期純利益	1,284,614	1,526,063
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,284,614	1,526,063

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,284,614	1,526,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,816	44,273
為替換算調整勘定	△252,551	△69,866
退職給付に係る調整額	6,412	140
その他の包括利益合計	△141,322	△25,451
四半期包括利益	1,143,292	1,500,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,143,292	1,500,611

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,918,192	1,867,331
減価償却費	503,448	477,732
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,186	△3,242
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,998	△140,983
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,350	△6,700
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△7,646
受取利息及び受取配当金	△14,265	△14,183
保険解約返戻金	△2,479	—
支払利息	8,829	8,119
固定資産売却損益 (△は益)	—	△682,713
有形固定資産除却損	1,283	1,425
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△6,978	2,273
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,261,181	△999,653
たな卸資産の増減額 (△は増加)	342,073	244,743
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△83,535	48,943
未払費用の増減額 (△は減少)	9,731	127,015
仕入債務の増減額 (△は減少)	57,264	△192,014
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△6,938	42,290
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△113,442	67,773
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△451,598	△430,491
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△317	△1,755
その他	51,957	19,114
小計	933,880	427,379
利息及び配当金の受取額	14,265	14,183
利息の支払額	△9,265	△8,899
法人税等の支払額	△709,332	△323,586
法人税等の還付額	468	571
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,017	109,648

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△891,026	△688,318
有形固定資産の売却による収入	895	1,253,084
無形固定資産の取得による支出	△467,241	△360,611
投資有価証券の取得による支出	△3,843	△3,927
貸付金の回収による収入	412	—
資産除去債務の履行による支出	△6,250	—
その他	3,747	△16,432
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,363,305	183,794
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△24,090	115,910
長期借入れによる収入	—	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△138,008	△173,730
リース債務の返済による支出	△4,146	△3,743
自己株式の取得による支出	△961	△173
配当金の支払額	△374,969	△188,178
その他	21	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△542,154	850,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103,882	17,678
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,779,325	1,161,204
現金及び現金同等物の期首残高	7,466,898	4,820,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,687,573	5,981,867

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)および「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)が2018年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったこととともない、当第2四半期連結累計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転したと判断した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当社グループは、機械性能確認後、機械出荷時に収益を認識する出荷基準から、顧客指定工場に、機械搬入据付終了後に収益を認識する搬入据付基準へと変更いたしました。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第2四半期連結累計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第2四半期連結累計期間の期首の剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第2四半期連結累計期間の期首より前までに従前の取り扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が173,695千円、売上原価が81,806千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ91,888千円増加しております。

また、利益剰余金の当期首残高は、93,539千円減少しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、今後の経済に与える影響の予測が難しい状況にあります。

当社グループでは、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な外部情報等に基づき、2020年度末に向けて業績が徐々に回復していくとの仮定を設定し、会計上の見積りを行っております。

なお、第1四半期連結累計期間の四半期報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期やその後の経済状況の回復に関する仮定について、重要な変更はありませんが、収束が遅延し、影響が長期化した場合には、実際の結果は見積りと異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	5,929,191	1,134,343	1,684,139	2,359,453	11,107,128
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,045,827	6,706	—	—	2,052,533
計	7,975,018	1,141,050	1,684,139	2,359,453	13,159,662
セグメント利益	1,515,146	18,619	177,050	866,942	2,577,758

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	3,211,959	227,478	3,439,438	14,546,566
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	47	47	2,052,581
計	3,211,959	227,525	3,439,485	16,599,147
セグメント利益	222,295	36,961	259,256	2,837,015

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、イギリス
- (3) アジア……………中国、台湾、韓国、オーストラリア、タイ

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,837,015
セグメント間取引消去	△12,726
本社一般管理費(注)	△924,401
四半期連結損益計算書の営業利益	1,899,887

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,842,622	774,437	1,696,682	1,260,124	8,573,865
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,368,586	61,462	—	—	1,430,049
計	6,211,208	835,899	1,696,682	1,260,124	10,003,915
セグメント利益又は損失	1,132,696	24,005	173,367	469,772	1,799,842

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	2,609,760	232,136	2,841,896	11,415,762
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23	1,430,073
計	2,609,760	232,159	2,841,920	12,845,835
セグメント利益又は損失	△10,141	38,299	28,157	1,828,000

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、フランス、オマーン、イタリア
- (3) アジア……………中国、タイ、韓国、インドネシア

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,828,000
セグメント間取引消去	59,361
本社一般管理費(注)	△825,326
四半期連結損益計算書の営業利益	1,062,035

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントの変更に関する事項

会計方針の変更に記載の通り、当第2四半期連結累計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益または損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更により従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の食品加工機械製造販売事業における「日本」の売上高が183,382千円、セグメント利益が96,217千円増加し、同事業における「北米・南米」の売上高が9,686千円、セグメント利益が4,328千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。